

control



新製品
IoT

KeyRack インテリジェントなキーハンガー

鍵をIntelliPinキーペグとペア設定し、KeyRackシステムのロック有りまたはロック無しキーハンガーを壁に直付けするか、キーハンガーをセーフティーボックスの中に設置して鍵を保管します。これほど簡単に鍵のステータス把握と全体管理が確実にできるシステムは、ほかにはありません。KeyRackなら、インテリジェントな鍵保管システムをコントロールボックス1台につき最大で66段、全部で924箇所まで鍵吊り位置を増設し、KeyWinに接続することができます。壁に取り付けければ鍵の有無を一目で把握でき、セーフティーボックス内に設置すれば最大限の安全を確保できます。どちらを選ぶかは、お客様次第です。

KEYWIN6

市場で最も総合的な管理ツールのさらなる進化形として、鍵や貴重品を安全に管理するKeyWin6。鍵や貴重品の保管庫が世界のどこにあっても、ほんの数人の管理者で、可能な限り高精度の管理が行えます。お客様のニーズに応じて、IoT技術に立脚しMicrosoft Azureを介するKeyWin6 IoTクラウドサービス、またはローカルソフトウェアのインストールのいずれかをお選びください。



鍵吊り位置は、
ロック有りとロック
無し
からお選びくだ
さい。



全製品をご覧になるには、
こちら www.creone.jp

安全を第一に

ニーズに対応できる柔軟性、最大限のステータス把握

control



壁に直付け

KeyRackキーハンガーを壁に直接取り付ければ、確実に全体を把握できるだけでなく、必要な鍵をさっと取り出すこともできます。ロック有りハンガーとロック無しハンガーを自由に組み合わせることで、ニーズに応じたシステム拡張を簡単に行えます。納品時には、キーハンガー5段、10段、または15段用の取り付けキット一式が同梱されます。

コントロールユニット

最大66段、924箇所の鍵吊り位置。
寸法 (高さ×幅×奥行)
:365x190x90 mm

取り付けキット

ハンガー5段:450x560x85 mm
ハンガー10段:870x560x85 mm
ハンガー15段:1320x560x85 mm



セーフティーボックス内に簡単に設置

どのような外殻保護で鍵を盗難や火災から守るかは、お客様がお選びください。取り付けも鍵の取り扱いも簡単、鍵一本一本のステータスを最大限に把握できます。

容量増大、機能数増加

ユーザー

- ・ 選択またはランダム設定による暗証番号
- ・ 暗証番号またはカードリーダーによるログイン
- ・ キャビネット側で番号の変更が可能
- ・ ユーザーの無効化
- ・ ユーザーに対する有効期間の設定
- ・ ユーザー別言語設定
- ・ 鍵を持ち出す回数の制限が可能
- ・ ユーザータイプ (2段階認証)
- ・ 拡張された検索機能

イベントログ

- ・ PCとキャビネットのログ記録
- ・ ログに表示する内容の選択
- ・ インテリジェントな検索機能
- ・ 日付またはイベントに基づく並べ替え
- ・ 明確なアラーム表示
- ・ PDFによるレポート
- ・ アラームをEメール送信

鍵保管キャビネット

- ・ ディスプレイに検索機能搭載
- ・ 誰が鍵を持っているかを表示
- ・ 設定用サービスメニュー
- ・ 完全な権限を持つ管理者コード

- ・ 自動または固定IPアドレス
- ・ ドアアラーム
- ・ キーアラーム
- ・ 盗難アラーム
- ・ スマートモード
- ・ 外部カードリーダーに接続
- ・ 外部アラームに接続

グループ管理

- ・ ユーザーごと、鍵ごと、ドアごとのグループ管理
- ・ 時間帯設定
- ・ グループごとに容易に管理
- ・ グループごとに明確に把握

管理者

- ・ 管理者権限のカスタマイズ
- ・ 管理対象のキャビネットの選択
- ・ 自分が担当するキャビネットに関してのみ情報を表示
- ・ アクティビティのログ記録

予約

- ・ 特定のキーの予約
- ・ 予約中はその他のユーザーのアクセスを制限

レポート

- ・ アラーム回数と鍵の持ち出し回数についての日次統計

- ・ 最も使用頻度の高いユーザーの上位10人
- ・ 最も使用頻度の高い鍵の上位10本
- ・ 現時点で持ち出されている鍵の総数に関する統計
- ・ システム内の鍵とグループの総数についての統計

鍵

- ・ 時間制限
- ・ 鍵の隠しIDによる検索が可能
- ・ 鍵の「カラーグループ化」
- ・ 鍵の概要のグラフィック表示
- ・ 鍵を必ずしも同じキャビネットに戻す必要なし
- ・ 鍵の吊り位置は不定でも指定でも

設定

- ・ キャビネット概要
- ・ 管理状況概要
- ・ CSVまたはXMLを介したユーザーのインポート
- ・ ユーザーまたは鍵のPDFへのエクスポート
- ・ コードの桁数
- ・ カードリーダーの追加/削除
- ・ 製品情報
- ・ アラームイベントのメール設定
- ・ 言語の選択